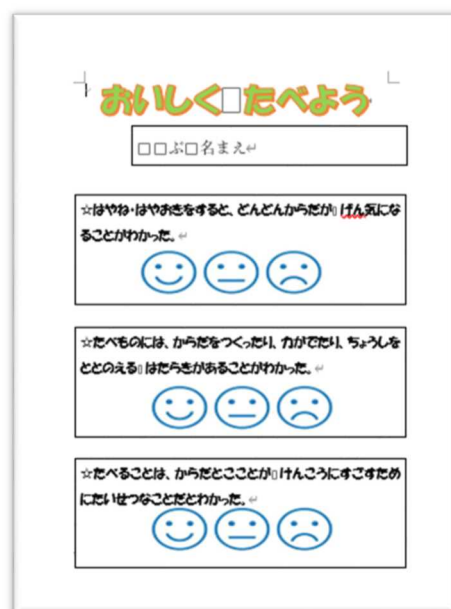


【授業実践振り返りカード】1月

学校名 富士見小学校	1 学年
授業者氏名 沼田 祐里奈	
題材名 「きもちのいい せいかつ」	
主 眼 歯と口の学習を積み重ねてきた子どもたちが、毎日食べているご飯について考え、どんな栄養が自分のどんな力になっているのかを考えながら大型絵本「おいしく食べよう」を読むことを通して、バランスのいい食事のよさやよくかんで食べることのよさを実感することができる。	
学習材 ・「子どもをまもる 食育シリーズ おいしくたべよう」大型絵本	
成 果 ・大型絵本に仕掛けがたくさんあるため、興味を持って絵本を読む様子が見られた。 ・対話をしながら進めることで、子どもたちの素直なつぶやきや反応が見られた。栄養バランスのいい献立を選ぶクイズでは、「力のでる」「体をつくる」「調子をととのえる」食べ物が入っているかを考えることができた。 ・最後にはふりかえりカードでわかったことを3段階で自己評価をした。早寝早起き・食事・よくかむことが日々の気持ちのいい生活を送るための大切な役割になっていることを再確認できた。	
課 題 ・園児向けでもある絵本なので、難しさはなく、1年生又は2年生まで可能かと思う。 ・	

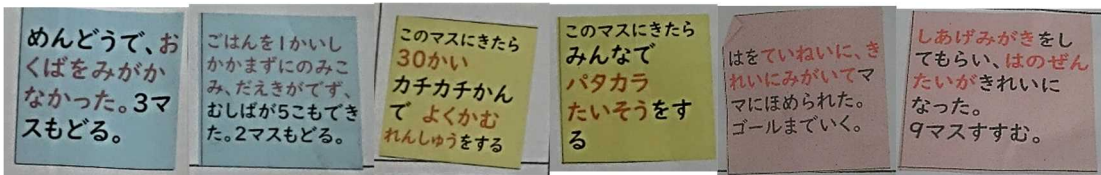


【授業実践振り返りカード】1月

学校名 富士見小学校	2 学年
授業者氏名 長田 文彰	
題材名 『はごろく』を2部さんと一緒にやってみよう	
主 眼 お正月遊びで、百人一首やすごろくに取り組んできた子どもたちが、歯と口の健康について学習した1年生が『はごろく』を作成したことを知り、1年生なのに歯に関わる内容がたくさん盛り込まれていて、楽しみながら歯について学べたり、1・2部合同でルールや進め方を決め出して『はごろく』を行うことを通して、1年生の歯と口の健康に関する知識量の多さに刺激を受け、どんなことが歯と口の健康につながるのかを再確認し、3学期の歯と口の健康に関する学習や日頃の歯みがきやパタカラ体操への意欲を高めることができる。	
学習材 ・1年生が歯と口の健康について学習し、獲得してきた知識を使って作った『はごろく』 ・どのマスの内容が特に学習になったかをまとめるプリント	
成 果 *「このマスに来たらパタカラ体操を2回する。」「お母さんから仕上げ磨きをしてもらった。9マス進む。」「ごはんを1回しか噛まずに飲み込んだので、唾液が出ず、むし歯が5個もできた。2マス戻る。」 このようなマスを色別に「青」・・・気をつけることのマス 「ピンク」・・・いい姿を参考にするマス 「黄色」・・・歯に関するミッションが書かれたマス と、わかりやすく作られており、恥ずかしかったり、忘れかかった内容だったりするものが多く、自然にその場で実行したり、思い出して明日から取り組もうとしたりする姿がみられた。 *「1年生でも、自分たちより気づきが良く、今後の参考になる」など、刺激を受けて、しっかり歯を磨こうという感想を出す児童が多かった。 * 1・2組が入り交じっての班になり、ミッション(みんなで30回噛む)(パタカラ体操をみんなでやってみる)を班員の数人で同時に行うことで、ふだん一人ではなかなかできなかったことが、積極的に行うことができた。 * 1・2組合同で、ルールや班での進め方を決め、トラブルはなく、和気藹々と楽しむ姿がみられた。	
課 題 * 1年生から学ばせてもらうことが多かったのに、お礼やいいマスを褒めたたえる等の発信ができず、残念だった。作成者によさやがんばりを伝える機会を作るようにできたらよかった。	



【授業実践振り返りカード】1月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 野田 直美	
題材名 「 1 年 2 部さんと『はごろく』をしよう 」	
主 眼 ひまわりの種を使った歯にいいおやつ作りに取り組んできた子どもたちが、1 年 2 部さんが、歯と口の健康について学習し、獲得した知識を使って作った「はごろく」を一緒に楽しんだり、「はごろく」のお礼に歯と口の健康に関する絵本を読み聞かせしたりすることを通して、1 年生の歯と口の健康に関する知識量の多さに刺激を受け、どんなことが歯と口の健康につながるのかを再確認し、3 学期の歯と口の健康に関する学習や日頃の歯みがきやばたから体操への意欲を高めることができる。	
学習材 ・1 年 2 部が歯と口の健康について学習し、獲得してきた知識を使って作った「はごろく」	
成 果 ・下のようなマスで 1 年生の子どもたちが考えて文章に表していたことに、3 年生の子どもたちはとても驚いていた。1 年生が歯と口の健康についてここまで知識があることを知り、いい刺激をもらうことができた。	
 めんどうで、おくばをみがかなかった。3 マスもどる。 ごはんを 1 かいしかかまずにのみこみ、だえきがです、むしばが 5 こもできた。2 マスもどる。 このマスにきたら 30 かいカチカチかんで よくかむ れんしゅうをする このマスにきたら みんなで パタカラ たいそうをする はをていねいに、きれいにみがいてママにほめられた。ゴールまでいく。 しあげみがきをしてもらい、はのぜんたいがきれいになった。9 マスすすむ。	
・『はごろく』で、歯に良いことや悪いことを再確認したり、歯を健康に保つためのお口の体操（パタカラ体操・「いーあーいー」・「あいうべー」）をしたりすることができた。 ・歯に悪いことをしたら戻るマス、歯に良いことをしたときは進むマス。黄色いマスは、班のみんながチャレンジする内容が書かれており、1・3 年生みんなが 30 回かむ練習をしたり、パタカラ体操をしたりして、歯と口の健康に良いことをして楽しみながら 1 年生と交流することができた。	
課 題 ・グループによっては、「はごろく」の止まったマスに書いてある内容の前半部分を読まずに、後半部分の「○マスすすむ」「○マスもどる」だけを見て、コマを動かしているグループもあったため、全員でマスに書かれていることを全て読むよう声がけをした。すごろく遊びの要素を楽しみながらも、遊ぶ前に、クラス全体で、「はごろく」の目的やルールをあらかじめきちんと確認する必要がある。	
・今回は、1 年生から学ばせてもらうことが多かったため、3 年生から歯と口の健康について発信する機会もつくっていきたい。	

【授業実践振り返りカード】 1月

学校名 富士見小学校	学年 4 学年
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯と口の大切さを発信しよう！」（総合的な学習の時間）	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 「歯と口の大切さを富士見小学校や富士見町に発信したい！」と願い、保護者向けに発信するイベントを2学期に行った子どもたちが、3学期のイベントに向けて「より自分事として活動できるチームはどこか」という観点に着目し、チーム決めをすることを通して、今後の活動や課題に対して主体的に学習に取り組む態度を身につけることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・第1回健康会のふり返し（単元のふり返し）	
成 果 第1回健康会のふり返しで、「チームの人数が多くて人任せになってしまった」といった反省があった。この反省を児童に示し、第1回希望調査後にチームごとの希望人数も示した。人数を見て、「ちょうどいい！」「多いから移動しようかな…」といったチーム決めに対して自分事として捉えているであろう声があった（この後、第2回、第3回と希望をとり、最終決定した）。	
課 題 今後イベントに向けての活動を進めていくにつれて、主体的に学習に取り組む態度がよくなる時がくると予想している（第1回に向けての活動で経験）。各チームに分かれての活動の時間だとしても、学習材を用意していきたい。	

【授業実践振り返りカード】 1月

学校名 富士見小学校	学年 5 学年
授業者氏名 赤堀 万里子	
題材名 「お口の健康につながる 豚汁・おにぎりづくりを紹介しよう」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 お口の健康につながる豚汁・おにぎりづくりを通して、噛み応えや歯によい栄養素に目を向けてきた子どもたちが、富士見っ子タイムでほかの学年の人たちにも自分たちの考えた豚汁やおにぎりがどのように口の健康につながっているのかを紹介する準備をすることを通して、作り方や材料の工夫と口の健康の関係を相手に伝える発表にするための工夫ができる。（準備）	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 自分たちの実践記録	
成 果 ○自分たちの調べた事や、実際に試したことを思い出し、噛み応えや栄養素によるお口の健康について、再確認することができた。 ○相手に伝わりやすくするという意識したため、それぞれの生活の中での工夫を提案することにつながった。（広めること）	
課 題 ○記録を頼りに発表内容を考えたが、収穫祭から時間がたってしまったので思い出すのに大変だった。発信することについては、もう少しタイムリーな時期に行えると効果的だった。	

【授業実践振り返りカード】 1月

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 大道 健人			
題材名 「生活習慣病の予防って？」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 クラスでアンケートをとったデータから、夜遅くまで起きていて睡眠時間が十分に確保されていない実態を知った子どもたちが、生活習慣病は、食事・運動・睡眠・休息などが深く関係していることに着目し、健康な生活をしている人とそうでない人の血液の流れ、肺の色、歯茎の様子などの動画や写真を比較したり、がんについて専門家の話を聞いたりすることを通して、がん、心臓病、脳卒中と同様に歯の健康も生活習慣の改善によりリスクを減らせることを知るとともに、歯みがきや咀嚼だけでなく、生活習慣全般を見直そうとする態度を培うことができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・血液の流れ、肺の色、受動喫煙の実験、歯茎の色などを示す映像資料 ・相澤病院の安藤先生のがんについての講演			
成 果 子どもの振り返りより ・がんにならないために、生活習慣を見直したい。とくに大人になっても私は絶対にたばこは吸いたくない。 ・暴飲暴食もがんにつながるとは知らなかった。自分の生活を変えることが病気にならないために必要なことだし、歯を磨くこともそうだから、ちゃんと改善していきたい。			
課 題 ・時間が足りず、十分な振り返りの時間を確保できなかったため友だちの良い考えを共有することができなかった。学級だより等で発信していきたい。 ・ゲームのやり過ぎで睡眠時間を確保できていない6年生は多いようだ。歯の健康も含め、生活習慣を整えることの重要性をもっと理解してもらいたい。			